

FOMA UMO1-HW 取扱説明書3.0版⇒4.0版 変更履歴

No.	種別	3.0版		4.0版		変更内容																																
		ページ	項番	ページ	項番																																	
1	変更	表1	表紙	表1	表紙	赤字箇所を変更 第4版 2012年5月																																
2	変更	表4	裏表紙	表4	裏表紙	赤字箇所を変更 12/5 (第4版)																																
3	変更	1	ヘッダー表記	1	本装置のご使用にあたって	赤字箇所を変更 なお、本書に記載している内容は2012年5月現在の情報です。																																
4	変更	P.1以降	ヘッダー表記	P.1以降	ヘッダー表記	赤字箇所を変更 12/5 第4版																																
5	変更	P.1以降	ページ全体	P.1以降	ページ全体	ページ全体で以下のように変更 ・FOMAカード → ドコモUIMカードへ変更 ・推奨回路のGND記号をSignal_GNDに統一																																
6	追記	22	2.1.1 外部接続コネクタの端子について	22	2.1.1 外部接続コネクタの端子について	「注意」に以下の赤字箇所を追記 ・本装置のGND (接地) 端子はSG (Signal Ground) です。																																
7	追記/変更	23	2.1.3 電気的インタフェース I. 本装置出力端子への接続	23	2.1.3 電気的インタフェース I. 本装置出力端子への接続	「図2-2 電気レベルがマッチングする場合の推奨回路」、「図2-3 電気レベルがマッチングしない場合の推奨回路」のプルアップ抵抗値に関する箇所を変更、及び「説明」に下記赤字箇所を追記 変更: プルアップ抵抗値について、51kΩの記載をRに変更 追記: ・Rについてはお客様にて適切な値を選定してください。																																
8	変更	24	2.1.3 電気的インタフェース II. 本装置入力端子への接続	24	2.1.3 電気的インタフェース II. 本装置入力端子への接続	「図2-5 電気レベルがマッチングしない場合の推奨回路」のUART_SDのプルアップ抵抗値51kΩを1kΩに変更、それに応じて回路図を変更																																
9	追記	25	2.1.3 電気的インタフェース III. PWRKEYへの接続	25	2.1.3 電気的インタフェース III. PWRKEYへの接続	「注意」の項目1を以下のように変更 ・本装置の電源ONの前、および電源OFF時は、本装置のPWRKEY、UART_SD、UART_XRS、UART_XER、WAKEUP_SLEEP_INIに対応する外部装置側のすべての出力端子をハイインピーダンス状態にしてください。																																
10	変更	36	4.2 入出力端子の特性	36	4.2 入出力端子の特性	「表4-2 電気レベルの推奨使用条件」のIleakの記載を以下のように変更 変更前 <table border="1"> <tr> <td>I_{leak}</td> <td>入力リーク電流</td> <td>23, 26, 28, 34, 46</td> <td>-0.2</td> <td>0.2</td> <td>μA</td> <td>-</td> </tr> </table> 変更後 <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">I_{leak}</td> <td>入力リーク電流 (liner pull up)</td> <td>26, 28, 34, 46</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>μA</td> <td>入力信号V_{in}</td> </tr> <tr> <td>入力リーク電流 (liner pull down)</td> <td>26, 28, 34, 46</td> <td>-10</td> <td>-60</td> <td>μA</td> <td>入力信号V_{in}</td> </tr> <tr> <td>入力リーク電流</td> <td>23</td> <td>10</td> <td>60</td> <td>μA</td> <td>入力信号V_{in}</td> </tr> <tr> <td>入力リーク電流</td> <td>23</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>μA</td> <td>入力信号V_{in}</td> </tr> </table>	I _{leak}	入力リーク電流	23, 26, 28, 34, 46	-0.2	0.2	μA	-	I _{leak}	入力リーク電流 (liner pull up)	26, 28, 34, 46	-	1	μA	入力信号V _{in}	入力リーク電流 (liner pull down)	26, 28, 34, 46	-10	-60	μA	入力信号V _{in}	入力リーク電流	23	10	60	μA	入力信号V _{in}	入力リーク電流	23	-	1	μA	入力信号V _{in}
I _{leak}	入力リーク電流	23, 26, 28, 34, 46	-0.2	0.2	μA	-																																
I _{leak}	入力リーク電流 (liner pull up)	26, 28, 34, 46	-	1	μA	入力信号V _{in}																																
	入力リーク電流 (liner pull down)	26, 28, 34, 46	-10	-60	μA	入力信号V _{in}																																
	入力リーク電流	23	10	60	μA	入力信号V _{in}																																
	入力リーク電流	23	-	1	μA	入力信号V _{in}																																
11	追記/変更	37	4.2 入出力端子の特性	37	4.2 入出力端子の特性	入出力波形関連の説明において、赤字箇所を追記 外部負荷容量が約100pFの場合の出力端子UART_RDの出力波形イメージを図4-5に示します。出力端子の電気レベルが10%⇒90%に変化する時間の立ち上がり・立下りの時間は25±5ナノ秒となります。 本装置の入力端子UART_SDの入力波形要求を図4-6、図4-7に示します。立ち上がり（電気レベル10%から90%）(Tr)にはBit time (Tr+T)の25%以下、立下り（電気レベル90%から10%）(Tf)にはBit time (Tf+T)の25%以下が必要です。 (例) 230.4Kbps の場合 Tr または Tf ≤ bit time の25% Bit time = 1/230400 bps = 4.34us = 4.34us *25% = 1.085us その他の入出力信号に対してはTr、Tfの規定はありません。																																
12	変更	37	4.2 入出力端子の特性	37-38	4.2 入出力端子の特性	「表4-4 音声入出力仕様」の一部を改ページ																																
13	変更	41	4.3.4 リアルタイムクロック (RTC) の電源	41	4.3.4 リアルタイムクロック (RTC) の電源	「表4-8 VCOIN端子電気特性」の電源電圧の値を変更 最小値: 3.0 → 2.85 Typ : 3.1 → 3.0 最大値: 3.2 → 3.15																																
14	変更	45	5.2 USB インタフェース	45	5.2 USB インタフェース	「注意」の参考パーツの記載箇所にて、「AVLC18S02003」を「AVLC18S02003」に変更																																
15	削除	67 68 69	6.4 AT コマンド詳細	67 68 69	6.4 AT コマンド詳細	%CEND、%CONF、%CONNコマンドの実行例において、「%CONN:1.0」と「AT+CHUP」の間の空行を削除																																
16	削除	80	6.4 AT コマンド詳細	80	6.4 AT コマンド詳細	AT&Cコマンドの実行例において、リザルト「OK」の後の空行を削除																																
17	削除	81	6.4 AT コマンド詳細	81	6.4 AT コマンド詳細	AT&Dコマンドの実行例において、リザルト「OK」の後の空行を削除																																
18	追記	120	6.4 AT コマンド詳細	120	6.4 AT コマンド詳細	ATコマンド「+CMT」の実行例において、下記赤字箇所を追記 +CMT1: "SM",9 AT+CMGF=0 OK AT+CMGF? +CMGF: 0 OK																																
19	変更	157	6.4 AT コマンド詳細	157	6.4 AT コマンド詳細	「◆受信SMSのPDUパケットの構造について」の「■受信SMSのTPDU」のUDHIパラメータの記載において、下記赤字箇所に変更 <UDHI> : <UD>にSMSの内容以外のヘッダーが含まれているかどうかを示します。 0 : <UD>はSMSの内容のみ 1 : <UD>にヘッダー (※) あり ※ : ヘッダーのフォーマット、値については各サービスによって異なりますので、サービス提供元にご確認ください。																																

20	追記	158	6.4 AT コマンド詳細	158	6.4 AT コマンド詳細	<p>「◆受信SMSのPDUパケットの構造について」の「■ 受信SMSのTPDU」の<SGTS>パラメータの記載において、下記赤字箇所を追記</p> <p>データ長は7オクテット(年、月、日、時、分、秒、タイムゾーン)であり、その構造は1オクテットごとに反転します。例えば、「11/03/22 09:20:29+00」の場合、「11302290029200」と表示されます。</p>
21	変更	158	6.4 AT コマンド詳細	158	6.4 AT コマンド詳細	<p>「◆受信SMSのPDUパケットの構造について」の「■ 受信SMSのTPDU」の<UDL>、<UD>パラメータの記載において、下記赤字箇所に変更</p> <p><UDL> : SMS本文のデータ長 <UDHI>が0の場合 : 送信SMSのパラメータの定義と同じです。(P.156) <UDHI>が1の場合 : ヘッダーとSMS本文のデータ長(オクテット)です。 <UD> : SMS本文 <UDHI>が0の場合 : 送信SMSのパラメータの定義と同じです。(P.156) <UDHI>が1の場合 : ヘッダーとSMS本文です。</p>
22	変更	159	6.4 AT コマンド詳細	159	6.4 AT コマンド詳細	<p>「◆受信SMSのPDUパケットの構造について」の「■ 送達通知のTPDU」の図6-12、図6-13のパラメータの並びを図6-14に合わせて上から(MTI, MMS, SRQ, UDHI)の順に変更</p>
23	追記/変更	187	7.2.26 アイドル状態のAT コマンドによるソフトウェア更新開始	187	7.2.26 アイドル状態のAT コマンドによるソフトウェア更新開始	<p>・図7-27の「再起動中」から「更新通知完了」の間の「90秒以内」を「通常(※)90秒以内」に変更 ・「説明」に下記赤字箇所を追記 ※ : 通常とはパケット通信圏内で、電波の受信レベルが高い状態を指します。</p>
24	追記/変更	188	7.2.27 アイドル状態のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	188	7.2.27 アイドル状態のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	<p>・図7-28の「再起動中」から「更新通知完了」の間の「90秒以内」を「通常(※)90秒以内」に変更 ・「説明」に下記赤字箇所を追記 ※ : 通常とはパケット通信圏内で、電波の受信レベルが高い状態を指します。</p>
25	追記/変更	189	7.2.28 アイドル状態・XRS HIGH時のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	189	7.2.28 アイドル状態・XRS HIGH時のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	<p>・図7-29の「再起動中」から「更新通知完了」の間の「90秒以内」を「通常(※)90秒以内」に変更 ・「説明」に下記赤字箇所を追記 ※ : 通常とはパケット通信圏内で、電波の受信レベルが高い状態を指します。</p>
26	追記	190	7.2.29 スリープモード時・XRS HIGH時のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	190	7.2.29 スリープモード時・XRS HIGH時のFOMAネットワークからのソフトウェア更新開始	<p>図7-30の「ソフトウェア更新の通知を受信する」から「ソフトウェア更新開始」の間のタイマー「173秒以内」と矢印を追記</p>
27	削除	209	8.5.1 音声通話の発信(相手からの切断)	209	8.5.1 音声通話の発信(相手からの切断)	<p>図8-27の「終話」と矢印を削除。</p>
28	変更/削除	210	8.5.2 音声通話の着信(外部装置からの切断)	210	8.5.2 音声通話の着信(外部装置からの切断)	<p>・図8-28の「開放終話」を「開放完了」に変更 ・図8-28の「終話」と矢印を削除。</p>
29	変更	211	8.5.4 自動呼び出し制限	211	8.5.4 自動呼び出し制限	<p>図8-30の「2分」を「2分以内」に変更</p>
30	変更	212	8.5.4 自動呼び出し制限	212	8.5.4 自動呼び出し制限	<p>図8-31の呼出回数のカウントの記述を分かりやすい表現に変更</p>
31	変更	214	8.6.1 PDUモードのSMS	214	8.6.1 PDUモードのSMS	<p>「+CGMF」を「+CMGF」に変更</p>
32	変更	220	8.6.2 TEXTモードのSMS	220	8.6.2 TEXTモードのSMS	<p>「+CGMF」を「+CMGF」に変更</p>
33	変更	251	11.2.3 ソフトウェア更新実行時の注意事項	251	11.2.3 ソフトウェア更新実行時の注意事項	<p>注意事項の項番2を以下の赤字箇所に変更 「パケット通信が切断され」→「パケット発着信の処理を中止し」へ変更</p>